

文化財を災害から守ろう

夜須消防団 抜き打ち消火訓練



1月26日(金)恒例の夜須消防団抜き打ち消火訓練が上夜須八王子宮で行われました。この訓練は30年前から、奈良の法隆寺金堂が炎上した昭和24年1月26日にちなむ「文化財防火デー」の前に行われています。午前6時30分にサイレンが鳴ると、駆けつけた消防団員が夜須川から取水し、中継して放水する実践さながらの訓練に、いつ市の文化財が対象となる火災が起ころうとも対応できる組織体制を確認しました。

両市町の絆を固く

姉妹都市提携披露 防災応援協定締結

1月18日(木)夜須マリンホールで、昨年11月に沖縄県八重瀬町で結んだ姉妹都市提携盟約書の披露と防災応援協定の調印式を行いました。

防災応援協定は災害が発生したとき、両市町が相互援助活動を行い、食糧など資機材の提供をし合うもので、八重瀬町からは中村町長や町議会議員ら33人が出席し、協定書に調印しました。沖縄と高知の共通点は台風の通り道であること。両市町が助け合い、友好を深めていきたいと話しました。



悪い鬼を追いはらえ!

保育所・幼稚園 節分行事



2月3日の節分に先駆けて、市内各保育所・幼稚園で豆まきが行われました。冬の神様と春の神様が交代する、すきを狙って鬼が入ってこないよう、豆をまいたり、玄關にヒイラギやイワシの頭を飾るのが節分です。2月2日(金)野市保育所では豆まき会が行われ、「豆まき」の歌や鬼のパンツの踊りを元気に踊りました。園庭で豆を渡された園児の中には、現れた鬼を見て泣き出す子も。勇気を出して勢いよく豆をぶつけ、泣き虫・弱虫・おこりんぼなどの心の中の鬼を退治しました。鬼が逃げていくと福の神が現れ、泣いている園児らの頭をなでてくれました。



一本の矢に心を込めて

夜須八幡宮 百手祭



1月21日(日)・22日(月)の両日、夜須町西山の夜須八幡宮で百手祭が行われました。約400年続くこの祭りは、高知県3大弓行事にも選ばれており、今年も12人の射手が弓を引きました。射手は大的や半紙、ダイダイ(みかん)を目掛け、天下泰平、五穀豊穡などを願って1,816本の矢を奉納しました。

22日(月)には夜須保育所の園児も訪れ、弓や弦をさわらせてもらい、目の前で的を射る射手の姿に「ぼくもやりたい!」と目を輝かせていました。

うちのまちが一番!

ふるさと自慢うた自慢 公開録音

【男性チーム】左から 谷岡信彦さん(赤岡町・絵金歌舞伎伝承会) 中屋了さん(香我美町・山北みかん) 刈谷義光さん(野市町・ニラ飛ばし)



1月19日(金)のいちふれあいセンターで、NHKラジオ番組の公開録音が開催されました。各町から有志が出演し、自慢の「のど」とイチ押し、町自慢を披露。6人の出演者は男女のチームに分かれゲストの鳥羽一郎さんと三沢あけみさんをリーダーに、地域のPRや歌を熱演しました。会場は始終楽しく盛り上がり、埋めつくした約600人の観客の笑いと拍手が沸き起こっていました。



【女性チーム】左から、森山栄子さん(野市町・野市ちんどん倶楽部) 田中愛さん(夜須町・演芸会) 福井継子さん(吉川町・はま美人)

春を迎える準備

新春の風物詩 野焼き

春先のまだ草木の新芽がみえない時期に行われる野焼きが、田畑や河川敷など市内各地で行われました。野焼きを行うには行政の「火入れ許可証」が必要です。

2月11日(日)香我美町山北西ノ沢地区で畑のあぜ草に火入れをしました。草刈りと異なるところは、害虫を焼き払う効果があること。今年は暖冬のため青い草が混じっており「焼けんで残るき困る」と話していました。



おどろの闇へご招待

絵金蔵2周年 夜間無料開放



2月11日(日)赤岡町絵金蔵が2周年を迎え、香南市民を対象に夜間無料開放を行いました。

合併し、市の施設となった絵金蔵をもっと市民にアピールしたいと企画。約90人が訪れ、暗い照明の中浮かび上がる絵金のびょうぶ絵を鑑賞しました。浜田義隆運営委員長は「7月上旬に落成予定の弁天座と一緒にイベントも考えていきたい」とこれからの取り組みに意欲を燃やしていました。

合併前から取り組んできた自然環境の保護や、地球温暖化対策として太陽光発電などの新エネルギーや省エネルギーの推進などが評価され、香南市として「循環・共生・参加まちづくり表彰」を受け、1月22日(月)若林環境大臣から賞状が手渡されました。

環境省では、持続可能な社会の構築に向けて地域に根ざしたまちづくりに取り組み、顕著な実績をあげている市町村などを表彰しています。環境省で賞状を受け取った市長は大臣との対談で、さらに市民がエコを身近に感じるエコテーマパークタウンを実現していきたいと抱負を述べました。

エコタウンを目指して

循環・共生・参加まちづくり表彰(環境大臣表彰)

